

(1) 保存地区の概要

地 区 名	日向市美々津
種 別	港町
面 積	約7.2ヘクタール
選 定 年 月 日	昭和61年12月8日

特 徴 江戸時代、秋月氏の領有する高鍋藩の港町として発展した地区。備前屋・河内屋などの屋号をもつ廻船業者が瀬戸内や大阪方面を取引先として商売し、その繁栄ぶりは美々津千軒ともうたわれた。

地区内には、江戸時代末期～昭和初期にかけて建てられた伝統的な町屋が残り、当時の面影を伝えている。

また、美々津には神武東遷の伝説があり、伝説にちなんだ伝統行事などが今もなお受け継がれている。



(2) 保存地区のあゆみ

昭和55年度 (1980)	安政2年建築の商家「旧河内屋」が市に寄贈される。
昭和58年度 (1983)	「旧河内屋」の修復を終え「日向市歴史民俗資料館」として開館。 「美々津の歴史的町並みを守る会」が設立され、町並み保存運動が始まる。
昭和59年度 (1984)	伝統的建造物群保存地区保存対策調査
昭和60年度 (1985)	日向市伝統的建造物群保存地区保存条例制定
昭和61年度 (1986)	『重要伝統的建造物群保存地区』選定
昭和63年度 (1988)	新ひむかまちづくり塾「美々津軒」を開設
平成5年度 (1993)	お休み処「美々津まちなみセンター」を開設
平成8年度 (1996)	美々津重要伝統的建造物群保存地区選定10周年記念事業を開催
平成9年度 (1997)	「美々津まちなみ防災センター」を開設
平成11年度 (1999)	「美々津まちなみ広場」に公衆トイレを開設
平成19年度 (2007)	「美しい日本の歴史的風土100選」選定
平成28年度 (2016)	美々津重要伝統的建造物群保存地区選定30周年記念事業を開催

(3) 保存地区の保存と整備

修理前



修理後



A two-story white wooden house with a dark roof. The house features multiple windows with white frames and shutters. On the ground floor, there is a small arched porch with white columns. The house is surrounded by greenery and a paved path leads to the entrance.



(4) 保存地区の活用とまちづくり

◆保存地区内の公開施設

歴史民俗資料館



◆安政2年建築の商家「旧河内屋」を修復し、歴史民俗資料館として活用している。美々津商人の暮らしや歴史を伝えている。

美々津軒



◆明治時代建築の商家を修復し、まちづくり塾(研修施設)として活用している。

美々津まちなみセンター



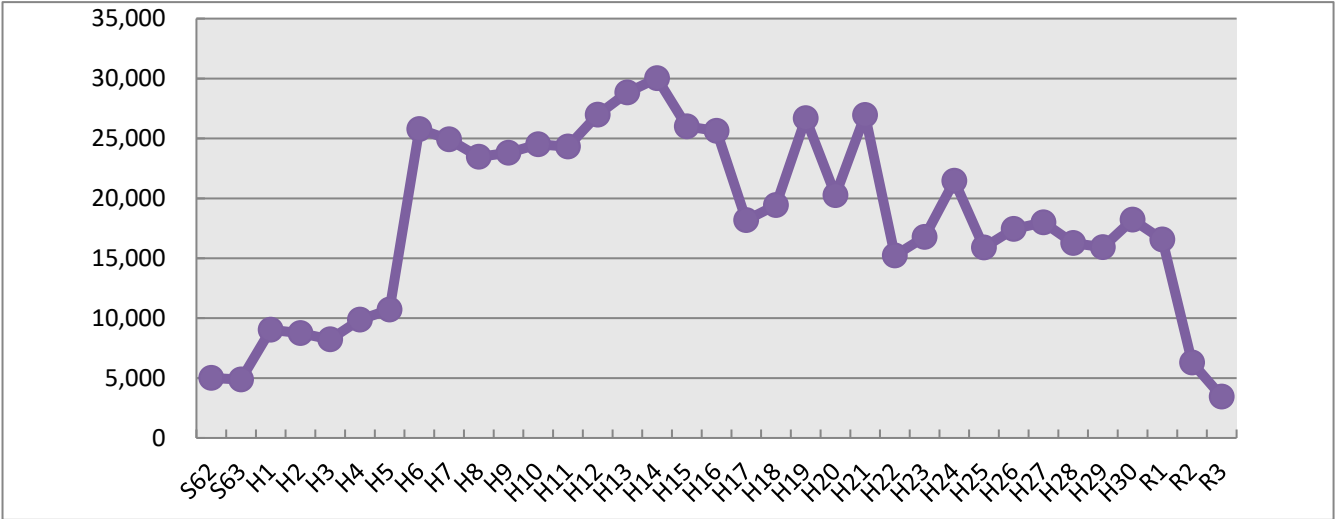
◆明治17年建築の商家を修復し、お休み処(休憩所)として活用。お船出だんごの製造や販売、地場産品の販売も行っている。

美々津まちなみ防災センター



◆地区内に所在する江戸時代末期の建物を模して修景し、消防機庫として活用。地下には150t級耐震用防火水槽を埋設している。

◆公開施設の総来場者数の推移



美々津まちなみ広場



◆江戸時代に「札の辻」と呼ばれていた高札のあった場所に公衆トイレを設置。

日向市美々津(宮崎県)

(5)住民等の取組

美々津の歴史的町並みを守る会が「第5回(令和3年度)美しい宮崎づくり知事表彰大賞」を受賞しました。

◆会の設立から38年、町並みの保全や清掃活動、伝統行事の継承を行うなど地域の活性化に貢献してきたことが高く評価され、美しい宮崎づくりに顕著な功績があるものとして大賞を受賞しました。



◆神武東遷伝説の伝承活動「おきよ祭り」を継承しています。



◆「おひなさん祭り」は美々津の春の風物詩となっており、多くの方々に喜ばれています。



◆定期的に町並みの清掃活動を行っています。



◆神武東遷伝説に由来する銘菓「お船出だんご」作りを継承しています。また、古代の舟をモチーフにした郵便受けや案内看板を作成し、消火器を木製のカバーで覆うなどして、町並みにふさわしい景観づくりに努めています。



◆町歩きマップを作成し配布しています。